

# 四国植物防疫研究

第 13 号

1978 年（昭和53年）7 月

## 目 次

トビイロウンカの薬剤感受性について……………吉岡幸治郎・向井宣広・土居隆洋・河野 弘…	1
イチモンジセセリの水田における生存曲線と生命表について（予報）……………	
……………佐々木英子・青木 敏・尾崎幸三郎…	5
カブラヤガ細胞質多角体病ウイルスについて	
Ⅰ 幼虫の発育程度と病原性の関係……………尾崎幸三郎・安富範雄…	11
カブラガヤ細胞質多角体病ウイルスについて	
Ⅱ 感染後の温度と発病との関係……………安富範雄・尾崎幸三郎…	17
徳島県のナシ園におけるハマキガ類の誘殺消長……………行成正昭…	21
イネ穂枯れに対する hydantoin 系化合物（ロブラール）の防除効果……………	
……………久保千冬・石井正義・山本孝猪…	29
イネ馬鹿苗病の防除に関する研究	
第 2 報 保菌もみの温度処理による消毒効果……………石井正義…	35
種子消毒剤の水稲生育に及ぼす影響について……………上田 進・別宮岩義・南条治彦…	41
オオムギ斑葉病に対する種子消毒の効果……………金磯泰雄・柏木弥太郎…	43
香川県におけるタバコ黄斑えそ病（P V Y - T）の発生について……………	
都崎芳久・小阪和彦・伊藤 博・野田弘之・大熊 衛・亀山政幸・十河和博・青木 敏…	49
除草剤ポースンの土壌中での分解……………松本 勲・浅田泰次…	55
本会記事……………	59
最近問題となっている病害虫の発生及び防除上の問題点……………	61
会員名簿……………	65